

# 「つくる」と「育てる」の溝

あれほど望んだ子どもがいざ生まれたら、喜び以上に心配が……。虐待の芽を摘んでくれる心の専門家が、必要な時期に足りない。

編集部 古川雅子 監修・医療ジャーナリスト 伊藤隼也

不妊治療を受ける人にとって、なかなか妊娠できないという悩みは大きい。痛みやリスクを伴う検査や治療の過程で不安になったり、緊張したりもする。そして多くの場合、不妊や治療をしていることを家族や周囲に話せない。

こうした心の負担は、妊娠した時点で消え去るもの——こう考える人は多い。だが意外にも、妊娠・出産したがゆえの苦しみもあるのだ。

教育関連の仕事をしているカナコさん(36)は一昨年初、男の子を産んだ。不妊治療を受けている間は、いつになったら妊娠するのかと、出口の見えない不安が取り除けなかった。

婦人科のある診療所、大学病院、不妊専用のクリニックなどを渡り歩き、4軒目の施設で3回目の人工授精に失敗したとき、ためらいながらも医師にこう尋ねた。

「先生、いつまで続けたらいいんでしょうか……」

返ってきた言葉は、「さあね、自分で決めたら」だった。気持ちが一気に冷え込

み、治療はそこで中断した。

## パーフェクトベビー

治療をやめたら自然に子どもができた。「不妊治療をしていた期間は、何の意味があったのだから」と脱力感に襲われた。

あれほど欲しかった子どもが目の前にいる。喜びいっぱいの日々

だった。だが、大きくなるにつれて心配の波が押し寄せ、心の中はむしろ治療中よりも深い泥沼に陥ってしまった。離乳食を食べないと「何か異常があるのでは」、発育が悪いと「やっぱり治療のせいかしら」という具合に、ネガティブに考えてしまう。

子どもと2人でこの世界からいなくなつたほうがいいのでは」などと思うようにもなつた。自治体の不妊専門相談センターでカウンセリングを受けたところ、「不妊治療を受けると「赤ちゃんが出来たこと自体が奇跡的」「生まれてくる子は唯一無二の特別な存在に違いない」などと思いがち。

「やっと授かった子どもなのに、うるさくしかる自分」を責めてしまふんですね。子どもをうるさいと思つたりするのは、当たり前のことなのに……」

そんな主婦の体験は、治療を受けたことのある仲間にも共通するところが多かつたという。

NPO法人「自然育児友の会」

## 全国65不妊治療施設の心と体のケア

### 北海道・東北

#### 北海道

##### 斗南病院

窓口— 連携 ※週1回北海道大学病院の精神科医が院内で相談  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師  
ケア 分娩施設を紹介

##### 神谷レディースクリニック

窓口 ずずらんの会、不妊カウンセリング 1 4 臨床心理士1  
連携 斗南病院  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師、看護師 ※パンフレット、スライドあり  
ケア 分娩施設を紹介

#### 青森

##### 弘前大学医学部附属病院

窓口— 連携 神経科精神科  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師  
ケア 分娩施設を紹介

#### 表の見方

##### 病院名 (赤) 分娩を実施

病院名 (黒) 分娩を実施していない  
窓口 診療とは別に患者の悩みを聞く相談窓口の名称、対応者、人数(パンフレットに明示されていない場合、医師・看護師のみの相談は対象としない)

不妊看護認定看護師  
不妊カウンセラー  
カウンセラー  
IVF(体外受精)コーディネーター  
連携 心のケアのために連携する他科/他施設(赤字)  
相談 不妊治療中から育児期までトータルに相談に応じているか

不妊 妊婦 産前 育児  
が相談を実施  
説明 多胎の可能性を文書を用いて十分に説明しているか、説明する人  
IVF(体外受精)に明示 (編集部で確認できた場合)  
ケア 多胎になった場合の対応と具体的なケア

#### 宮城

##### レディースクリニック京野

窓口 カウンセリング 生殖・不妊心理カウンセラー、産前カウンセラー(1人ずつ) 連携—  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師 ※早産、低体重児出産などリスクについてセミナーあり  
ケア 分娩施設を紹介

##### 吉田レディースクリニック

窓口 不妊相談 3 2  
連携 仙台市立総合医療センター、山形大学附属病院  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 ※IVF教室あり  
ケア 分娩、NICU施設紹介

#### 山形

##### 山形大学医学部附属病院

窓口— 連携 精神科  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師  
ケア 自施設での妊娠分娩管理

#### 福島

##### いわき婦人科

窓口— 連携—  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師、エンブリアロジスト(胚培養士)、体外受精コーディネーター  
ケア 分娩施設を紹介

##### 福島県立医科大学附属病院

窓口 不妊治療相談窓口 1 1  
連携—  
相談 説明 妊婦 産前 育児  
説明—  
ケア 分娩施設を紹介

※アンケートの対象は、日本産科婦人科学会・不妊治療登録施設より3つの基準 (①2004年のアエラの調査で年間体外受精周期数が150を超えたところ②非配偶者間人工授精の臨床実施に関する登録施設③日本生殖補助医療標準化機関(JISART)の会員施設)で選定した施設。65施設の自己申告に基づく回答を掲載



イワサレディースクリニック

窓口 - 連携 -  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 - ケア -

兵庫

徐クリニック 不妊センター

窓口 不妊相談 1/1  
連携 -  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 -  
ケア 分娩施設の紹介、助産師による指導

英ウィメンズクリニック

窓口 看護師カウンセリング 2  
1  
連携 ナチュラル心療内科クリニック  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師  
ケア 分娩施設の紹介

奈良

ASKAレディースクリニック

窓口あり 1/1/2  
連携 - 相談 -  
説明 医師、IVFコーディネーター  
ケア 分娩施設の紹介(原則的にNICUのある基幹病院)

滋賀

南草津 野村病院

窓口 不妊相談 4 連携 -  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 ※データを添付して説明  
ケア 妊婦の自己決定に基づいたケア

いしかわクリニック

婦人科 不妊センター  
窓口 不妊相談 4/3  
連携 志水東海診療所(心療内科、精神科)  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師、IVFコーディネーター  
ケア 分娩施設の紹介、医師、IVFコーディネーターが精神的にサポート

大阪 New ARTクリニック

窓口 予約相談、カウンセリング  
2/2/2 連携 -  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 助産師、看護師  
ケア 分娩施設の紹介

IVF 大阪クリニック

窓口 心理カウンセリング 1/1  
1 不妊栄養カウンセラー  
連携 河内総合病院(心療内科、産科)クリニック  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師、看護師  
ケア 分娩施設の紹介

藤野婦人科クリニック

窓口 - 連携 ※近隣の心療内科を紹介  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師  
ケア 分娩施設の紹介

西川婦人科内科クリニック

窓口 - 連携 -  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師、看護師、IVFコーディネーター  
ケア 分娩施設の紹介

近畿

京都

京都大学医学部附属病院

窓口 - 連携 女性のこころとからだの相談室、総合診療部、精神科、神経科  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師 ※体外受精説明会あり  
ケア 助産師外来の受診など

足立病院

窓口 カウンセリング 1 臨床心理士  
連携 京大病院、富木神経科医院、京都民医連第二中央病院  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師 ※IVF説明会あり  
ケア 自施設で分娩までケア

長崎 遠近クリニック

窓口 不妊カウンセリング 医師1  
連携 -  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 -  
ケア 妊娠・分娩管理、早産予防や育児に関するカウンセリング、分娩施設(周産期センター)の紹介

大阪

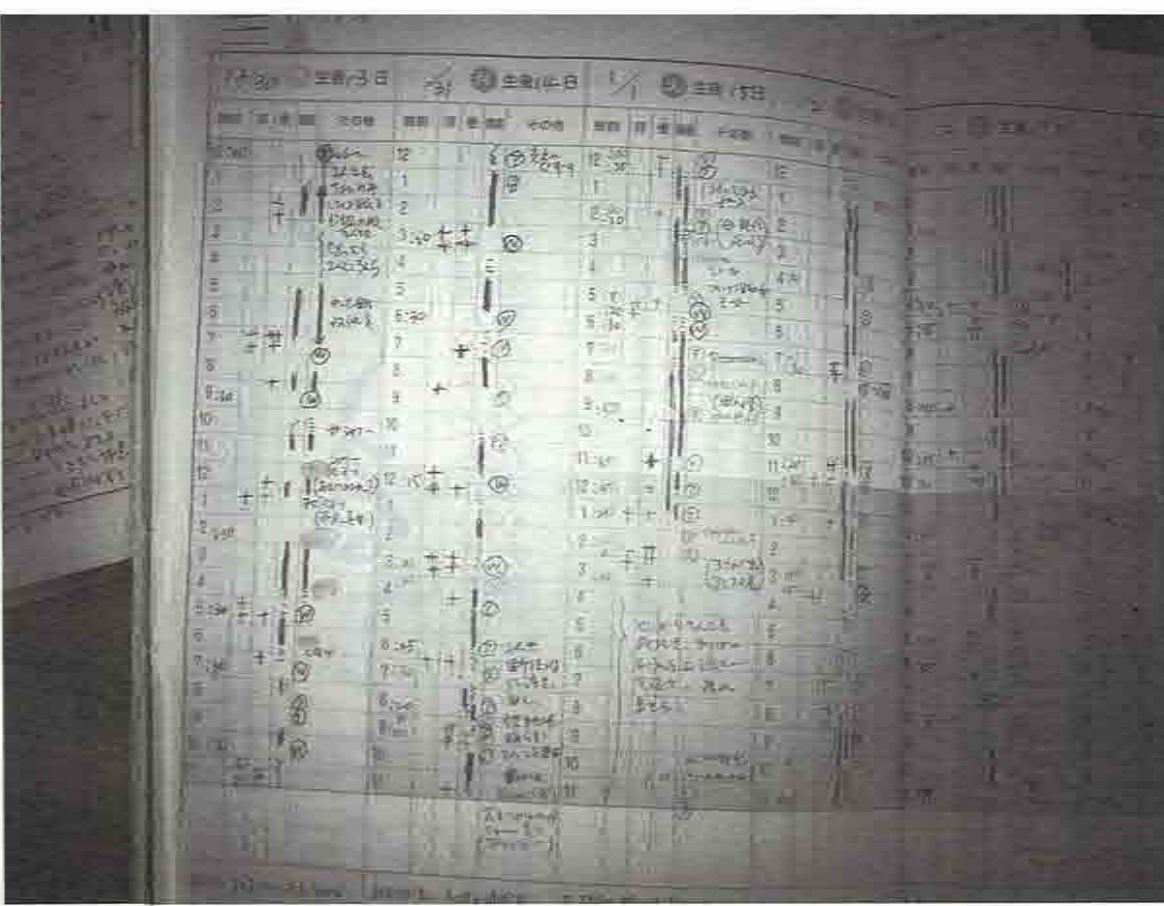
IVF なんばクリニック

窓口 心理カウンセラー 1  
不妊栄養カウンセラー1  
連携 河内総合病院(心療内科、産科)クリニック  
相談 不妊 妊婦 産前 産後  
説明 医師、看護師  
ケア 分娩施設の紹介

双子のお母さんの育児日記。丸で囲んだ「W」は2人同時の授乳の印。「2」人のミルクとオムツ交換で眠れない日々でした

「妊娠すれば治療は終わり」ではない。不妊治療を受けている間と

同様に、妊娠後にも不妊に根ざした心の問題がある。それなのに「つくる」と「産み育てる」が断絶したままでは、患者が「妊娠」



理事の松原まなみさん(前福岡県立大学看護学部教授)は、こう語る。

「出産や育児の不安は誰しもあるもの。不妊治療を受けた人たちは、不妊症に悩み、比較的長期にわたって治療を経験された方は、妊娠がゴールになりがちで、新たなスタートとなる妊娠後の気持ちの準備が追いつかない。しかも、治療中の人への気遣いもあって「授か

った子のことで悩んだりしたらバチが当たるのでは」と考え、一人で悩みを抱えてしまいます」

「一貫ケアの施設少なく、こんな報告もある。琉球大学医学部附属病院周産母子センターでは、不妊治療による妊娠と自然妊娠の二つのグループに分けて、母性(母親としての役割意識)にまつわる27項目の質問をした。その結果、不妊治療を経験したグループは、母性を肯定的に考える回答が妊娠後期には多かったのに、産褥期(出産後、母体が回復するまでの期間)には低くなる傾向があった。自然妊娠のグループは逆に、妊娠後期から産褥期にかけて肯定的な回答が増えた。子どもへの思いの強さゆえに、母親として子どもに向き合う感情が空回りしてしまう。不妊治療を経験した方の親心は複雑なものです。治療中だけではなく、妊娠した後も、早い時期から精神的なケアが必要でしょう(松原さん)だが、不妊治療を受けた施設で必ずしも出産まで面倒をみてもらえるわけではない。日本は欧米に比べ、不妊治療からお産までを一貫してケアできる施設が少ない。

「不妊治療施設では、紹介した妊婦がその後どのような経過をたどって出産したかについての情報が

アエラで全国の不妊治療施設にアンケートしたところ、「診療とは別に相談窓口を設けている」と答えた施設は全体の半分程度。「不妊治療中から育児期までトータルに相談を受けている」と答えた施設は30にとどまった。

各施設の相談対応者で多かったのは「不妊カウンセラー」だ。これは日本不妊カウンセリング学会が認定している資格で、看護師や助産師が兼任していることが多い。病院やクリニックのほか、各自治体の不妊相談センターなどにも活動の場を広げている。また、治療の決定の際に心強い存在である「IVF(体外受精)コーディネーター(同学会が認定)や、全国でも20人ほどしかない「生殖・不妊心理カウンセラー(日本生殖医療心理カウンセリング学会が養成・認定する専門の臨床心理士)、不妊の専門知識を持つ「不妊看護認定看護師」がいる施設もあった。「助産師」の存在も見逃せない。ことに、「ネグレクト(育児放棄)や虐待」の疑いがあるときなどは、先回りして問題の芽を摘み取るような経験とセンスが必要になる。複数の周産期センターを訪ね、

不妊治療を経験した母親にもネグレクトや虐待の疑いがあるケースが存在することを知った。多くが前号までに掲載してきた「早産」や「多胎妊娠」と関係していた。

愛情形成に支障も 03年の児童虐待による死亡例のうち、要因としてあげられた項目では「未熟児」が29.2%、多胎妊娠が8.3%という報告(05年児童虐待等保護事例の検証に関する専門委員会)もある。



長崎

**ART 岡本ウーマンズクリニック**

窓口ヒュア相談室 1 3 1  
助産師1  
連携 すみだクリニック  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師  
ケア 多胎のリスクを説明する機会を設けてNICUのある施設へ紹介

大分

**セント・ルカ産婦人科**

窓口不妊心理相談室 1 看護師主任クラス5  
連携 ※心理士により、精神科の治療が必要な場合は紹介  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 看護師(オリエンテーション時)  
ケア 分娩施設の紹介

鹿児島

**竹内レディースクリニック 高度生殖医療センター**

窓口 連携 鹿児島大学病院(女性外来)  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 ※体外・顕微授精説明会、不妊症教室あり  
ケア 妊娠中に合わせた個別指導、分娩機式に合わせた指導

**松田ウイメンズクリニック**

窓口 連携 相談 1  
説明 医師  
ケア 分娩施設の紹介

九州

福岡

**蔵本ウイメンズクリニック**

窓口 メンタルカウンセリング、オープンテラス(サイコロジスト) 2 1  
5 臨床心理士(Ph.D取得)1  
連携 ※臨床心理士が心理状態や医療機関との連携の必要性を査定し、通院しやすい最寄りの信頼できる施設へ紹介 相談 1  
説明 医師、IVFコーディネーター、不妊看護認定看護師 ※ART説明会あり  
ケア 分娩施設の紹介、ハイリスク出産のリスクや生活指導、NICUのある施設への紹介、分娩後の追跡調査など

**セントマザー産婦人科医院**

窓口 カウンセリングルーム 1  
連携 ありおん和クリニック(精神科)  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師  
ケア 健診、早期管理入院、帝王切開術

**IVF 詠田クリニック**

窓口 不妊ART教室 2 助産師3 連携 1  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師、助産師、看護師 ※パネル、スライドもある  
ケア 分娩施設の紹介、妊娠中のリスク対応予防の説明

(国立成育医療センター)こころの診療部部長・奥山真紀子(まこと)さん  
最近、NICUに入院するようないりすくの新生児でも、なるべく親子の触れ合いをさせようという動きがある。親が子どもに触れながらゆっくりマッサージなどを「タッチケア」、おむつだけをした子どもを母親の胸にゆつくりと抱きとめる「カンガルーケア」などだ。

国立病院機構・長良医療センター(岐阜県)では、こんな例が見られた。

NICUの看護師と連携して妊娠のケアをする助産師が、授乳や赤ちゃんとの触れ合いなどの指導をしていた時、習得が極端に遅い双子の母親(33)がいることに気づいた。双子の間には体重差があり、大きい赤ちゃんは母親と一緒に退院できたが、もう一人はNICUに入院していた。特に、入院中の赤ちゃんをなかなか受け入れられないようだった。

「ネグレクトの可能性がある」と考えた助産師は、母親に週に1度通院してもらい、実家から両親を呼び寄せて子育ての手伝いをしてもらおう、お願いした。

1カ月後ほどたつて母親はだいぶ落ち着いた表情になった。2人の子に自然に接する姿を見て、助産師は胸をなでおろした。

この4月、同センターでは母親が退院後も相談できる窓口として、助産師が外来で母乳・育児指導をする「助産師外来『mama ai』」を本格的に始めた。

退院後こそが、双子や三つ子の母親の頑張り時だ。多胎児を産み育てる家族や育児

を支援する「多胎育児サポートネットワーク」代表の田中輝子(てるこ)さんは、自ら双子を育てた経験も踏まえてアドバイスする。

「双子や三つ子の子育てで、『最初はお風呂にも入れず、子どものウンチを交互にふき取るので精いっぱい』なんていう話は山ほどあります。外とのかかわりが薄くなるとハイリスクな育児につながりやすい。この時期を乗り切るためにも家族や周囲のサポートは必要です。私たちのような経験者が集まる団体やメルマガリストなどを活用するのでもいいでしょう」

不安の連鎖断つ予防策

千葉県に住む双子の母親ミキさん(33)も最初は「半年たつてもオッパイ、ウンチ、ご機嫌とり、その2乗です。公園デビューなんてとんでもないと思えるくらい、外には出られませんでした」。

その後何度も高熱で倒れるようになった。うまが合わない実の両親、帰りが遅い夫。誰にも頼れず、病気になるたら地域のヘルパーさんを頼んでほんのひとときお世話になっていった。相変わらず眠れないから回復も遅い。

数カ月して時々、子どもの泣き声が聞こえなくなることもあった。その頃、「目がうつろだよ」と夫に言われ、子どもが2歳になるまでは夫に仕事を辞めてもらい、夫婦で育児に専念した。

**岡山二人クリニック**

窓口相談窓口 1 1 連携 川崎医療福祉大学臨床心理学科  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師、エンブリオロジスト、看護師  
ケア 分娩施設の紹介

**徳島 中山産婦人科**

窓口あり 3 2 エンブリオロジスト4  
連携 1  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 1  
ケア 医師、助産師、看護師による妊娠分娩管理、分娩施設の紹介

**岡山 三宅医院 生殖医療センター**

窓口 連携 心療内科  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師  
ケア 原則的に自施設で分娩、ハイリスク出産に対応した高次施設への紹介

**広島 HARTクリニック**

窓口 カウンセリングルーム 1  
連携 広島市民病院(精神科)  
相談 不妊 妊婦 産前 育児  
説明 医師、看護師  
ケア 分娩施設の紹介

**広島 網谷産婦人科クリニック**

窓口 連携 相談 1  
説明 1  
ケア 分娩施設の紹介